



令和元年度 企業・行政等施設見学会 開催報告

1. 開催日時：令和元年9月3日（火）13：00～16：00
2. 開催場所：昭和電工（株）プラスチックケミカルリサイクル工場
（神奈川県川崎市川崎区扇町 5-1 昭和電工（株）川崎事業所）
3. 主 催：東京湾再生官民連携フォーラム
4. 参加人数：20人

去る9月3日施設見学会を実施しました。今回の施設見学は、昭和電工（株）川崎事業所のプラスチックケミカルリサイクル工場です。主に破碎成形設備・ガス化設備を中心に、工場内をバスで視察することができました。

途中、登録有形文化財として文化庁に登録された事務所やさまざまに張り巡らされて、パイプラインは、1930年の工場設立からという歴史を感じる化学コンビナートでした。

ケミカルリサイクルは、お菓子の袋やシャンプーボトルなどをはじめ使用されたプラスチックを製品・商材として再利用することができるのが大きな特徴です。

リサイクルと呼ばれる中には、エネルギーとして使用し、燃焼させる手法によるエネルギー転換が国内では多くなっているのが現状です。



<プログラム>

- 12：45～13：00 JR川崎駅前南 駅前大通り 集合
- 13：00 出発（貸切バス）
- 13：20 昭和電工川崎事業所着
- 13：30～15：30 施設レクチャー＆見学
（貸切バスで移動）
- 16：00 川崎駅南着 解散

レクチャーの様子 →





【工場内での写真は、許可された個所でのみ撮影しています】

昭和電工の方による説明がおこなわれ、施設見学参加者からは、沢山の質問があり、それを一つ一つ丁寧にお答えいただきました。大変感謝します。

レクチャールームからは、写真下にある工程が窓から見学できるようになっています。

同工場では、ガス化の手法により使用済みプラスチックを熱分解し、化学原料として再生する手法で、有効な活用を生み出しています。これから生み出される製品は、「アンモニア」「炭酸製品」となり、最終的には私たちの身近な製品として、販売されています。ガス化にあたり前処理工程として、運び込まれた使用済みプラスチックから異物を取り除き、破碎しプラスチックの塊を成形していきます。



成形されたプラスチックをベルトコンベアーで運び堆積工程（写真手前にある白く見える袋にある成形プラは、形状が大きいため振るわれさらに再度成形されます）

車内からガス化プラントの説明が行われました。→

【ガス化プラント】



昭和電工 マスコット「けびあ」ちゃん→